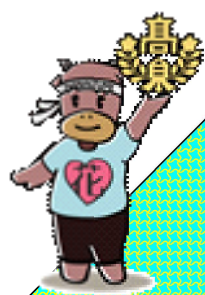


令和3年4月14日（水）発行



花高通信

校長版

4月号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町花泉字林の沢17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

令和3年度 花泉高等学校入学式挙行!!

4月10日（土）、花泉高等学校の令和3年度入学式が挙行されました。

国歌のあと、嶋隆校長から新入生38名の入学が許可され、校長式辞、熊谷嘉高同窓会事務局長様から高橋仁省同窓会長様のご祝辞を代読していただき、新入生代表の阿部華凜さんによる力強い宣誓へと続きました。閉式の後、CD演奏により校歌が紹介されました。

新型コロナウイルス感染症対策のために在校生は参加

しませんでした。新入生と保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝します。

入学式終了後、保護者の皆さんはPTA入会式に参加し、花高のPTA活動についての説明を受け、学級理事の選出を行いました。

令和3年度の新入生は、一関市内の花泉中学校、磐井中学校、萩荘中学校のほか、宮城県の金成中学校、若柳中学校、栗駒中学校から入学しています。



新入生宣誓

暖かな春の訪れが感じられる今日、私たち三十八名は花泉高校の入学式を迎えることができました。入学式を心から感謝申し上げます。私たちが新入生一同は、今日から花泉高校の生徒です。新しい制服に袖を通し、今までとは全く異なる生活を送るようになります。不安もありますが、どんな日も期待もあふれています。高校では、毎日悔しいと思いつつも、勉強に励むことはもちろん、部活動やボランティア活動でも頑張りたいです。先輩や先生方、ご指導いただき、花泉高校で共に学び、将来の夢に向かって精進してゆきます。

令和三年四月十日
新入生代表 阿部 華凜

校長式辞（抜粋）

新入生の皆さんの心は、これから始まる高校生活への不安の中にも、夢と希望で満ちあっていることと思います。これからの三年間、それぞれの夢の実現に向けて、果敢に挑戦していく皆さんに、こうあって欲しいという私の思いをお話ししてお祝いの言葉にしたいと思います。

二十世紀以降、私たちが暮らすこの世界は、これまでに経験のないスピードで発展し、科学と技術の進歩が人間の活動範囲を拡大し、情報化や国際化の進展、医学の進歩など、私たちに大きな恵みをもたらしてきました。これからも科学の進歩が新しい技術を生み出し、明るい未来が拓かれていくことが期待される一方で、環境への負荷や様々な格差の広がりなど、人間への悪影響も少しずつクローズアップされるようになりました。

例えば、現在も猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、一昨年の十二月に中国・武漢で発生し、あつという間に世界中へ広がりましたが、その背景には経済のグローバル化によって人と物が自由に、高速に移動できるようになったことや、数百万人が密集して生活する大都市化が進んだことが挙げられます。

また、エネルギー消費量が劇的に増加したことで、大量の二酸化炭素が排出されて、地球温暖化による気候変動が進み、異常気象が頻発しています。ある研究によれば、これまでは百年に一度発生するかどうかと言われていたレベルの台風が、そう遠くない未来、五年から十年に一度の頻度で発生するようになると予想されています。

世界や日本で拡大する人々の様々な格差も大きな問題です。所得格差を例にとると、世界の富豪の上位約二千人が所有する資産は、貧しい人たちが四十六億人の総資産を上回ると言われています。格差の拡大は人々から能力を向上させる機会を奪い、経済成長率の低下にもつながります。この格差と貧困の拡大は、新型コロナウイルス感染症の抑え込みを困難にしている要因の一つでもあります。

そして、所得格差を始めとした男女間の不平等、ジェンダー格差も世界や日本における重要な課題の一つです。最近公表された世界経済フォーラムの「男女格差報告」によると、日本の順位は百五十六か国の中で百二十位に留まり、政治参加や経済、教育などの分野で大きな男女格差があることが話題になったほか、元首相による女性蔑視発言が海外でも批判的に報道されたばかりです。

私たちはこのような社会の状況や周辺の環境に大きな影響を受けています。様々なレベルで多様性が増している現代社会では、私たちが含めて、価値観も言語も宗教も異なる人々が協力し合って解決すべき世界の課題に立ち向かわなければなりません。言うまでもなく「気候変動」問題は世界レベルで解決すべき課題であり、「貧困」「ジェンダー不平等」などの格差の問題も個人的なものではなく、社会や政治が強く関係しています。そして、国際社会全体として、これらの課題をより早く解決するために作られたのが「持続可能な開発のための目標（SDGs）」という共通目標です。個人的には「SDGs」という言葉で一括りにすること、個々の問題の本質が見失われてしまう不安も感じています。私たちの生存に関わる様々な課題を解決するためには、私たち一人ひとりが、視野を広げて世界の現状を理解した上で、実際に行動することが求められているのです。

そこで必要となってくるのが、本校の校訓でもある「知行合一」の考え方だと思っています。「知行合一」は、中国の明の時代に起こった学問・陽明学の基本思想の一つで、知ることと行うことはもともと一つのものであり、本当の知識には必ず行動が伴うものであるという意味です。本来、知識というものは、何かを実践するために得るものですが、知識ばかりを溜め込んで、それを実践しなかったり、学んでいるだけで満足したりしていることが多いのではないのでしょうか。現代はインターネットを通してたくさん情報が入ってくる時代で、知識ばかりが先行して行動が伴わないということが少なくありません。そういう意味で、「知行合一」は現代に生きる私たちにとって、大切な考え方と言えるのです。皆さんには、今日から始まる本校での高校生活で、常に「なぜ」と問い続ける姿勢を持ち、行動を起こすための正しい知識と能力を身につけ、そして実際に行動してくれることを期待します。

令和三年四月十日

岩手県立花泉高等学校 校長 嶋 隆

ようこそ、花高へ！



及川玲一郎先生
(副校長・理科)



相澤雅弘先生
(芸術・音楽)



大谷 茂先生
(理科・生物)



伊藤千果先生
(養護教諭)



佐々木玄先生
(保健体育)

令和3年度の定期人事異動で、花泉高校に5人の先生を新たにお迎えしました。授業や部活動などでの指導、よろしくお願いします！

対面式・入団式、部紹介開催！

4月12日（月）、対面式・入団式、部紹介が行われました。生徒会長歓迎の挨拶に続き、1年生がクラスごとにステージに上がって一人ずつ自己紹介を行い、その後、応援団による校歌・応援歌紹介などが行われ、2・3年生が1年生を歓迎しました。部紹介では、練習の様子や演奏を披露するなどして充実した活動をアピールしました。

部への加入は任意ですが、充実した高校生活を送るためにも、積極的な参加を期待しています。



上：対面式・入団式 下：部紹介